

道路占用工事の復旧方法（影響幅）

掘削部の最大幅に前後0.5mの影響幅をとり、約60度の角度の角度で斜めに全面復旧（半面復旧）する。

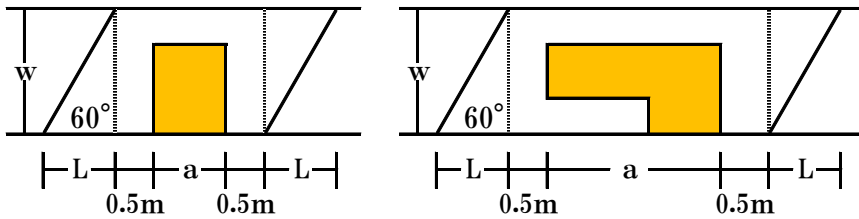
$$\text{面積} = (a + 0.5 + 0.5 + L) \times W$$

ただし、aは掘削延長・ $L = W/2$

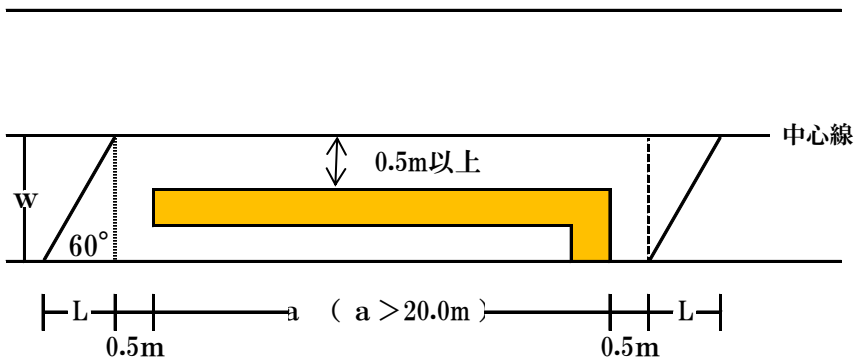
なお、歩道の場合は、最大幅に前後0.5mの影響幅をとり、全面復旧する。

$$\text{面積} = (a + 0.5 + 0.5) \times W$$

A・道路幅員4.2m以下の道路（全面復旧）

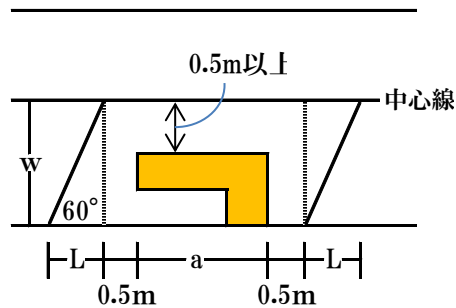
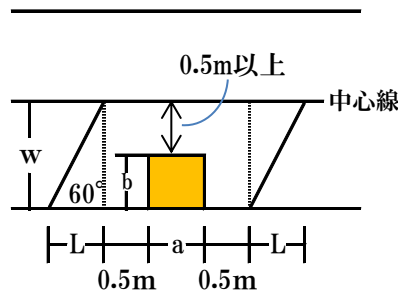


ただし、道路幅員3.0m以上、4.2m以下で掘削延長が20.0mを超える（ $a > 20.0\text{m}$ ）場合は半面復旧も可能とする。

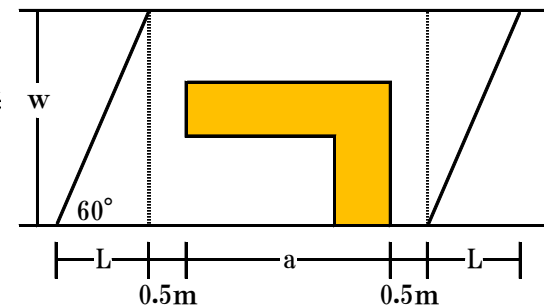
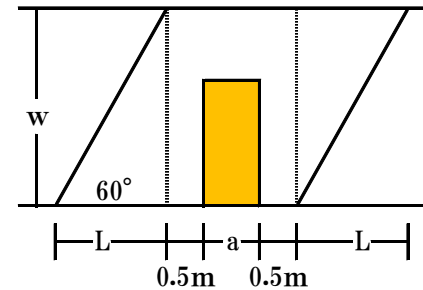


B・道路幅員が4.2mを超える道路（全面及び半面復旧）

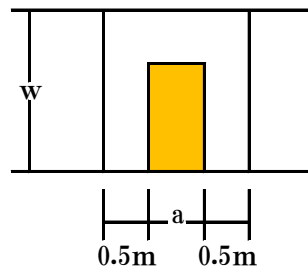
① W-bが0.5m以上の場合



② ①以外の場合



C・歩道（全面復旧）



1 上記の基準幅以上に影響が出ている場合は立会のうえ 指示に従うこと。

2 C-①の場合であっても、一路線における取り出し数、道路損傷及び交通量等によって全面復旧を指示することがある。